



● この時点でチェーンをホイールにくぐらします。あるいは先にハブにテープなどで傷つかないようにして仮止めしておくのも良い方法です。

● 左からドライバーなどを挿します。このとき右のドライバーと先端が当たるような感じで、カラーを落とさないようにします。



ドライバー等の細い棒

ブレーキパネル内のカラーを落とさないようにドライバー等の細い棒を利用して組立慣れると無しで出来ます

● 右側

のホイールカラーをセットします。ホイールカラーの端面を少し面取りしておくのと組みやすくなります。

- 右からアクスルシャフトを入れるようにしていきます
- アクスルシャフトはヘッドレスにして有りますので、アクスルを左右抜きながらやるなどの工夫で組みやすくなります。慣れるとこんな方法でなくても簡単にできるようになります。
- 走行が多い方は鉄製ドラムを装着してください。(オプションです。別記。)
- フロントも同じようにドライバーなどを利用するとやりやすいです

ワイヤー調整とレバー位置調整

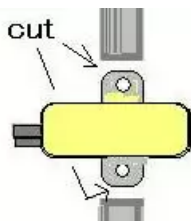
ブレーキシューは減りが早いので、走行系の方は、走行用 アルミブレーキアーム(OP)を使用してください。将来走行耐久用のシューを物色中ですが、アルミブレーキアームはブレーキ入力を落としているので、少し減りが遅くなっています。

アームの取付け構造はセレーションタイプですので、ブレーキシューの減りに合わせて、位置変更が出来ますが、位置変更したばあいは、作動時の部品同士の干渉で、ブレーキが利かなくなる事のないよう気をつけてください。走行前には必ず作動範囲、効き具合など、確認してお使いください。

タイヤは、走行用タイヤがオプションで準備してあります。走行主体になるのでしたら交換してください。その場合、フロントはアルミリムと調整カラーを使用すると走行感覚向上するとともに、組立てが少しは楽になります。

ブレーキパネルの組立 と ●ブレーキの調整

ブレーキはczでは大型化し、とてもよく効くようになりました。反面ブレーキシューの減りが早いので、走行して、遊びが増えてきたら、アジャストが必要です。ブレーキ入力比の変更と、より減りにくいシュー、ドラムを、オプションで用意してあります。高価ですので気が引けます。申し訳ありません。



スピードメーターのセンサーは画像の `hole sns` 部にセンサーを外側から取付けてください。画像のパネルはフロント用です。3ミリでビス止め(上図)、あるいはナイロンバンド(下図)で取り付けてください。走行により外れないように注意してください。



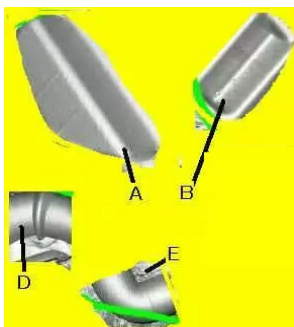
bolt は溝に合わせてください。

走行用には、オプションのアルミ削りだしブレーキレバーを装着してください。

走行により遊びが増えますので、レバー位置の変更用などの工具を携帯して、調整してください。



怒られちゃうかもしれないけど、ためにしに パーツグレープの仕上げ順を買ってみた。このほうが手で仕上げるにはやりやすいです。
* 赤点部は残しておき、フェンダー は切出す前のある程度仕上げしておく（仕上げが出来てから、切りはずします。）



いらぬ品のように見えますが、CZ70 で使う場合はABはバッテリーのコーナーのガードに、DEはエアクリナーなどのジョイントエルボに使う素材です。



この部分は 大変ですので、やらなくても大丈夫です。エアクリナーケースの上側のふたの車体中心側の下側をカットするとやりやすい。あるいはpe部品を左図の部分のようにカットして組んでください。
超大変ですがこのようなのが出来ました

らお知らせください。変ですが

cz70 事前情報 -の1-

●ところで、CZ70では、Z31A とエンジンが異なりますが、Z31A エンジンでの出荷もオーダーにより可能なように設計してあります。ちょっとブラケットの加工費が加わりますが、ないわけではありません。またブラケットには、基準穴がもうけてありますので、しこしこやればあとで乗せ換え も出来るようになっています。後は、あとで書きます。Sorry!!



●燃料タンクは一部、ドライバーかライターでのへこ変形が必要です。そのためにフレーム寸法を譲りたくなかったのです。たいした作業ではないですが。



ガソリンタンク内でのフィルター位置が下までつくように、細いパイプなどで延長してください。

配線 電気関係 627ed 配線色追記修正

ここではcz.70系のLED式ウィンカーランプを使用した場合を記しています。一体全体なにがどうなっているのか？ 予備知識。作業前に読んでください。

プレミアム仕様について記載します。ベーシックモデルでは自作あるいは、OPを活用してください。

- 左側スイッチのボタンswは、標準のホーンを使うときには機能しません。あとで何か別モデルの12Vのオンを使用したくなった場合には、ホーンスイッチとして、使えるよう、配線が設定しました。
- 右側スイッチのボタンswは、エンジンキルスイッチとして使う設定です

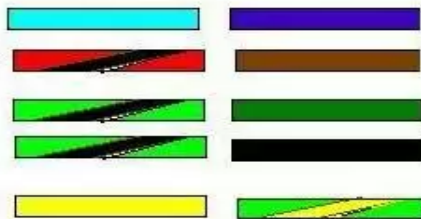
- ヘッドライト内のアース用端子(緑)は端子を普通 サイズのダブルにつけ変えてください。こうすることで配線をヘッドライトにすこしでも収め、ワイヤーハーネスの処理をまとめる努力をしました。

- ハーネス色は、なるべく色は合わせましたが、一部同系色などを使用しています。
メイン ハーネスの結

線のとき留意してください。

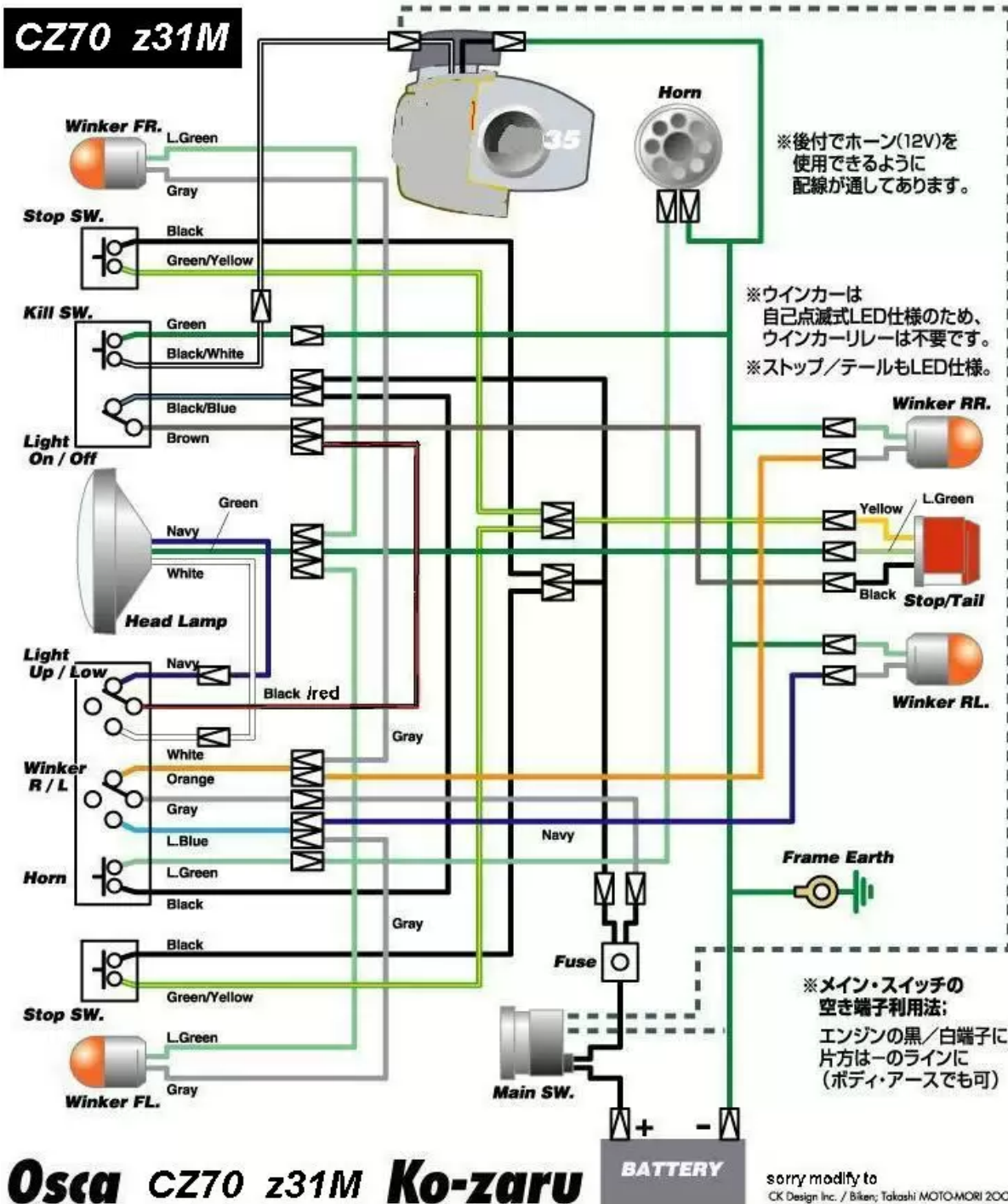
スイッチ右の水色の同系色は青に結線
 スイッチ左右の赤黒の同系色は茶に結線
 スイッチ右の緑黒は緑に結線
 スイッチ左の緑黒は黒に結線
 テールランプの黄色は緑黄色に結線

メインハーネス



●ウィンカーは、右が水色系(あるいは青使用)、左がオレンジ系と考えてください。ウィンカーランプのグレーリード線先端を同色でマーキングしておくとう分かりやすいです。

- 1 ヘッドランプ内のグリーン端子は、同梱のダブルのメスに付け替えてください。グリーンはアースです。
- 2 ウィンカー自体での色は、薄グリーンがアースに、灰色がプラスになります。これがスイッチからのRLの線(オレンジ水色につながります)(メインハーネスでは水色代わりに青色になっています) 極性を確かめて使用してください。頭痛のことを、headache、フランス語ではマララテット といいます。



時間無く 暫定です。ショートに注意してください。ヒューズをバッテリーとスイッチの間に入れる方法もありそうです。メインスイッチも配線追加でエンジンキルにも使えます。

---お詫び 設計屋は考えすぎた。

メインハーネスについて、

- 1 ホーンをいつか何かのバイクをつける人がいたらかと思って、若草色の線を入れてしまった
- 2 Z31Aのことや、ウinkerがLEDでないときの事も考え、ウinker専用電源グレーを入れてしまった(X35-2にて廃止)
- 3 色がまだ合わせきれない。メインハーネスの青は水色と考えると結線。(実は少量手配のためメーカーが動かさきれない。資金切れが近いかもしれないこともあるらしい。)
- 4 メインスイッチの延長赤線オス端子はメインスイッチの側の赤オス端子とつないでください。(ヘッドライトの端子交換で出たメス端子に'ダブルはめ'でOKです。)
- 5 配線ミスなどでヒューズが飛ばないように確認して、進めてください。

● バッテリーについて

LEDウinkerではバッテリーをLONG社製の WP1.5-12(12V-1.5AH)が使えるようにしてあります。

小型低価格ということで、良いかと思えます。お求めは秋葉原の秋月電子で通信販売もしていて、充電器キットもあるようです。

WP1.5-12



[完全密封型鉛蓄電池 \(12V 1.5Ah\) リンク先が掲載が多いのでお間違えないように...](#) b-00017

● ただ、別にそれでなくても、アルカリ乾電池(ラジコン等で使用)とか、似たようなもので、とにかく12Vにしてやれば、ウinkerがLEDになってますので、消費電力も少ないので、作動するはず。遊んで欲しい部分です

バッテリーブラケットは、プレートをプライヤーなどで丁寧に曲げて作成してください。画像のようにします。

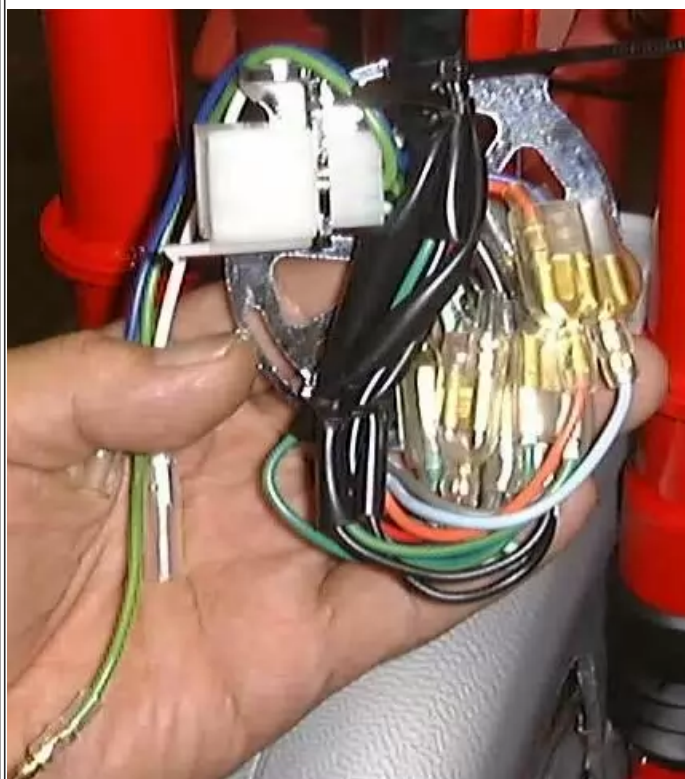
ステーの先端が曲げてとめるように長くしましたが、カットしてネジ止めるのもいいと思います。

バッテリーブラケットは展開形状になっています。

プライヤーなどで丁寧に曲げてください。

カット推奨ライン

6ミリ用の穴

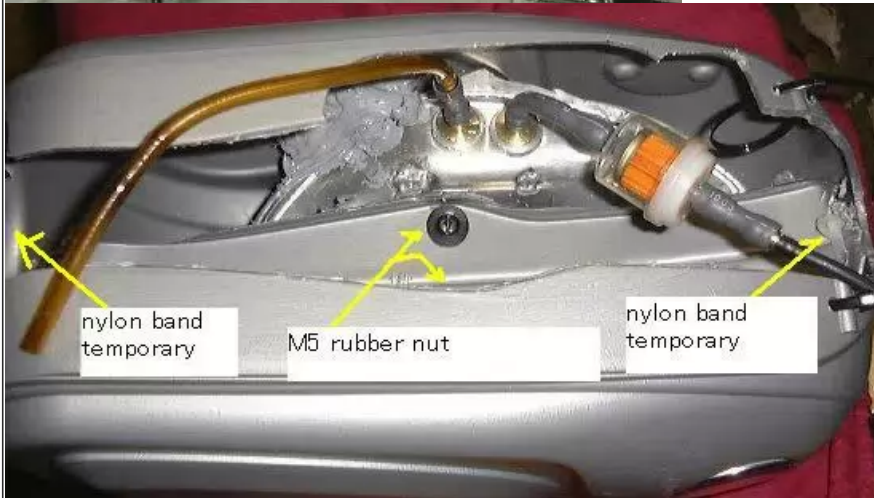


ハーネスの前はフロントエレクトロプレートを利用して、まとめ込みます。ポイントは 'の' の字のように、まとめる。中央にまとめるハンドルからの線。組んだときハンドルの動作に支障がない。

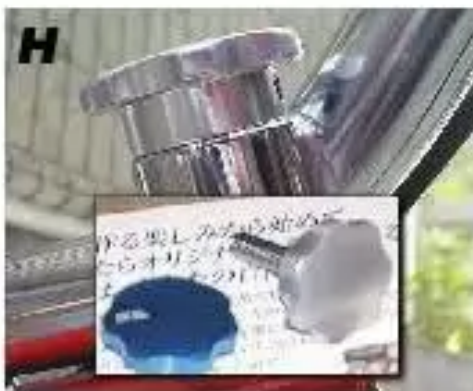


ウinkerのブラケット、配線処理参考画像

仔猿 タンク まずは画像のみで失礼。アルミタンクを入れるためには50ミリの穴を開ける方法
タンクを塗るにはこれがいいかも
下の画像はアルミタンクの一部を見えるようにしたもののだが。お好きなのはどちら



タンクの押さえをこの例ではパーツグレープの切り出し片を利用してやってみました。アルミ板などを使ってもいいかと思います。



H/ジュラ削出し展示用ノブ
¥4,800- ×2

Web Mini Catalogue
© Ko-zaru Bijyutsu Kenkyusho

CZの素敵なみにカタログもご覧ください。